

リチウムイオン電池による火災が増加しています！

～モバイルバッテリーや電子機器の取り扱いに注意しましょう～

近年、モバイルバッテリーやスマートフォン、コードレス掃除機などに使用されているリチウムイオン電池が原因となる火災が全国的に増加しています。

リチウムイオン電池は、強い衝撃や変形、過充電などにより発熱・発火する危険があります。また、不要になった電池を一般ゴミとして排出した場合、ゴミ収集車やゴミ処理施設で火災が発生する恐れがあります。

火災を防ぐために

- ・落下や衝撃を与えない
- ・膨張や変形、異臭がある場合は使用を中止する
- ・純正品または適合する充電器を使用する
- ・高温となる場所（車内など）に放置しない
- ・破損した電池は使わない

このような製品に使用されています



不要になった電池の処分について

リチウムイオン電池は一般ゴミとして排出せず、市町村のルールに従い適切に処分してください。

※三宅村では、リチウムイオン電池は「無価値物・有害ごみ」として不燃ごみ収集ステーションのボックスに出してください！！

火災を未然に防ぐため、一人ひとりが正しい取り扱いと適切な処分を心掛けましょう

リンク

- ・総務省 リチウムイオン電池等から出火した火災の調査結果について

https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/260326_yobou_99.pdf

- ・広報用リーフレット

https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/materials/pdf/39_mobilebattery.pdf

- ・リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト

<https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>